

「中央アジア+日本」対話・運輸・物流協力イニシアティブ

1. 日本はこれまで、中央アジア地域が「開かれ、安定して、自立的な発展」をしていけるよう、地域協力を促す「触媒」としての役割を果たしてきた。「中央アジア+日本」対話は地域における対話を重ねるために重要な枠組みであり、前回外相会合で一致したとおり、これまで同枠組みは対話の機能を十分に果たしていることから、次のレベルとして、実践的な協力を行っていく場に引き上げていくべきである。

2. そのような問題意識に基づき、日本は「中央アジア+日本」対話の枠組みの中でこれまで地域共通の課題である防災、麻薬対策、農業分野等において地域横断的な協力を行ってきた。今次「中央アジア+日本」対話・第6回外相会合では、中央アジア地域内の相互の結びつきの強化は、地域経済の発展、地域の安定に資するとの考えから、優先的地域協力分野として運輸・物流の発展について議論を行った。それを受け、日本としてこの分野での協力を具体的に示すべく、運輸・物流協力イニシアティブを打ち出すこととした。

3. 別表は、日本のこれまでの運輸・物流分野において実施してきた協力実績と現在進行中の案件及び今後の協力分野をまとめたものであり、日本は中央アジア地域の運輸・物流分野での更なる発展に貢献すべく、この別表に基づき、240億円規模の支援を行っていく。

【別表】

分野	これまで実施済みの協力案件	進行中あるいは今後の協力案件
全般（ビジネス関係強化を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年2月に運輸・物流をテーマに含んだ形で「中央アジア+日本」ビジネス対話を実施。 ・日本企業の参加を得て、運輸・物流インフラも含む「質の高いインフラ」をテーマとする官民インフラ会議を実施（ウズベキスタン：第1回2015年9月，第2回2016年10月，カザフスタン：2015年11月，キルギス：2016年10月）。 ・2016年10月に5か国の運輸・物流政府高官を招へいして視察・研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中央アジア+日本」ビジネス対話を今後も実施していくことを検討する。 ・今後とも，中央アジア各国からの要請や日本企業の要望等も踏まえ，各国において官民インフラ会議を実施する。 ・日本と中央アジア各国との二国間経済委員会等において，運輸・物流をテーマの一つとするよう働きかける。 ・運輸・物流分野における政府関係者の招へいや研修等の実施を検討する。 ・運輸・物流分野を含む政策担当者への人材育成支援を引き続き行う（人材育成奨学制度（JDS）等を活用）。 ・民間技術普及促進事業活用の可能性を検討する。
陸上輸送（道路・鉄道）・物流	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア各国においてこれまで鉄道・道路整備分野で11の無償資金協力（総額約165億円），10の有償資金協力（総額約1049.65億円），6つの技術協力プロジェクト，3つの開発調査を実施した。 ・2008年6月から2017年4月の期間，キルギスに道路行政アドバイザーの派遣を実施した。 ・2016年11月キルギスとタジクに対して道路維持管理機材に関する国別研修を実施した。 ・2013年にキルギス向け道路行政国別研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年4月からキルギスに道路行政アドバイザーを派遣。 ・中央アジア各国から要望があれば，陸上輸送・物流分野に関する国別研修の立ち上げを検討する。 ・かかる研修実施に向けた情報収集調査の実施や専門家の短期派遣等検討する。 ・対キルギス円借款「国際幹線道路改善計画」（119.15億円）を実施。 ・対キルギス無償資金協力「ビシュケク・オシュ道路雪崩対策計画」（総額42.88億円）を実施。 ・対キルギス無償資金協力「道路維持管理機材整備場改善計画」（総額4.41億円）を実施。 ・対タジキスタン無償資金協力「ソグ

		<p>ド州及びハترون州東部道路維持管理機材整備計画」(総額 19.92 億円)を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対キルギス技術協力プロジェクト「道路防災対応能力強化プロジェクト」(3 億円)を実施。 ・中央アジア各国をつなぐ道路整備を CAREC 等の地域間枠組みに沿った支援を引き続き実施していく。 ・鉄道による物流発展についての協力を引き続き行っていく ・各国からの要望に応じて, 道路維持管理, 都市交通, 雪害, 土砂災害対応含む道路防災, 鉄道分野にかかる人材育成を実施する。
航空輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア各国においてこれまで空港近代化・改善分野で 4 つの有償資金協力(総額約 460 億円), 無償資金協力 2 件(約 35 億円), 2 つの開発調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対タジキスタン無償資金協力「ドゥシャンベ国際空港整備計画」及び「第二次ドゥシャンベ国際空港整備計画」(計 22.70 億円)を実施。 ・対キルギス無償資金協力「マナス空港機材整備計画」(16.3 億円)を実施。 ・対タジキスタン技術協力「航空管制能力強化プロジェクト」(3.7 億円)を実施。 ・各国からの要望に応じて, 研修等を通じて航空輸送の能力強化にかかる人材育成を実施する。
国境管理, 税関	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア各国においてこれまで国境管理・税関分野において 5 つの無償資金協力プロジェクト(総額約 26 億円)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国からの要望に応じて, 税関行政の研修実施を検討する。 ・国際機関と連携して国境管理強化を行っていく。 ・「中央アジアにおける薬物・犯罪に対する国境連絡事務所設置及び越境協力強化計画(国連連携/UNODC 実施)」(2.96 億円)を実施。 ・「ハترون州国境安全強化計画(国連連携/UNODC 実施)」(2.67 億円)を

		<p>実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・対ウズベキスタン無償資金協力「省庁間の機動的なチーム設置を通じたウズベキスタンにおけるアフガニスタン産麻薬取引防止計画」(2.63億円)を実施。
--	--	--